取締役会の概要（2025年6月20日現在）

取締役会による的確かつ迅速な意思決定が可能な人員数、取締役会全体としての知識、経験、能力のバランスおよびジェンダーや国際性、職歴、年齢の面を含む多様性を考慮し、性別、年齢、人種、国籍等を問わず適材適所の観点より、総合的に検討した上で、指名・報酬委員会の答申を参照しつつ、取締役候補者を指名しています。また、当社取締役会が備えるべきスキルセットを開示しています。

●社内取締役　●社外取締役　◉議長／委員長

氏名	●男性 ●女性	期待する分野※1									各委員会および会議体の構成員ならびに出席状況						
		独立性（社外のみ）	企業経営 経営戦略	財務 会計 税務	自社事業 の知見	国際 ビジネス	イノベーション	製造 技術	リスク マネジメント	内部統制 ガバナンス 法務	取締役会	監査等 委員会	指名・報酬 委員会	経営会議	サステナビリティ マネジメント委員会	リスクマネジメント 全社推進委員会	コンプライアス 全社推進委員会
あおき たけし 青木 武志	●		●	●	●	●	●		●	●	◉ 11/11回		7/7回	13/13回	1/1回	1/1回	1/1回
かわしま こうじ 河島 浩二	●		●		●	●	●	●	●	●	11/11回		7/7回	13/13回	◉ 1/1回	◉ 1/1回	◉ 1/1回
すずき あゆみ 鈴木 歩	●		●		●		●	●	●	●	11/11回			13/13回	1/1回	1/1回	1/1回
かとう ひさし 加藤 久始	●		●		●	●	●	●	●		9/9回 ※2			13/13回	1/1回	1/1回	1/1回
こいけ としかず 小池 利和	●	●	●	●		●	●		●	●	9/9回 ※2		◉ 5/5回 ※2				
あさい のりこ 浅井 紀子	●	●	●				●		●		11/11回		7/7回				
まるやま はるや 丸山 晴也	●	●	●			●	●	●	●	●	—		—				
のだ ゆきひろ 野田 幸宏	●				●	●		●	●	●	—	—		—	—	—	—
まつばやし こうじ 松林 浩司	●			●		●			●	●	11/11回	15/15回		13/13回	1/1回	1/1回	1/1回
ほりえ まさき 堀江 正樹	●	●		●						●	11/11回	◉ 15/15回					
やぶ ゆきこ 籔 ゆき子	●	●					●		●	●	11/11回	15/15回					
ごとう もゆる 後藤 もゆる	●	●							●	●	—	—					

※1 上記スコアは、取締役および監査等委員の有するすべての知見を表すものではなく、取締役会に必要なスキルセットの中で特に期待する分野を記載しております。
※2 2024年6月13日就任以降の出席状況を記載しております。

社外取締役の選任理由などガバナンス体制の詳細は、コーポレート・ガバナンス報告書をご確認ください。
https://www.ibiden.co.jp/ir/library/governance/

当社取締役会が備えるべきスキルセット

必要とするスキル	理由
企業経営/経営戦略	激しい事業環境変化と不確実性の中で、重要な経営判断を行うために必要な国内外の企業経営・組織運営責任者としての豊富な知識・経験・能力が求められます。
財務/会計/税務	ICパッケージ基板事業を主力とする製造業である当社においては、継続的な設備投資とそれを支える機動的かつコスト面で優位な資金調達が必要不可欠です。併せて、リスクに備えた健全で強固な財務体質の構築が必要です。これらが最適なバランスで実現され、かつ、財務・税務コンプライアンスが担保された状態を監視・監督するための財務／会計／税務に関する専門的かつ高度な知識が求められます。
自社事業の知見	事業方針をはじめとした高度な事業経営判断およびモニタリング型の取締役会において求められる事業部門の業務執行の適切な管理・監督を実現するためには、自社事業に関する深い知見が求められます。
国際ビジネス	主力顧客が海外かつグローバルに生産・販売拠点を展開している当社において、市場・顧客動向に加えて、地政学リスクを含むカントリーリスクを踏まえた経営判断を可能とするスキルとしての国際ビジネス経験が求められます。
イノベーション	技術開発型企業である当社の企業理念「革新的な技術で、豊かな社会の発展に貢献します。」を実現するには、社会課題やお客さまのニーズを正しく認識し、それらの解決に向け、自社固有の技術だけでなく、外部とも連携する中でイノベーションの創出が必要となります。これらの活動を適切に監視・監督できるイノベーションに関する深い知見が求められます。
製造/技術	最先端のICパッケージ基板および高度なセラミック部材を中心としたモノづくり企業である当社がグローバルな競争環境を勝ち抜くには、自社の生産設備・製造プロセスにおける卓越した競争力の構築が必要となります。これらの活動を適切に監視・監督できる製造／技術に関する深い知見が求められます。
リスクマネジメント	中長期の持続的な企業価値の向上を実現するには、外部環境の変化を敏感に察知し、適切なリスクの把握と対処が求められます。これらを可能にするためのリスクに対する感度の高さと迅速・果断な経営判断を可能にするリスクマネジメントのスキルが求められます。
内部統制／ガバナンス／法務	株主をはじめとするステークホルダーからの信頼に応える企業統治体制と公正・透明な意思決定プロセスを構築・監視・監督するため、内部統制／ガバナンス／法務に関する高度な知見と高い遵法意識が求められます。

次世代経営幹部育成の方針

次世代経営幹部の育成については、2020年度より幹部職制度を新たに制定し、幹部職社員を次世代経営幹部候補層として位置づけ、役員トレーニングに参加させるとともに幹部職社員を対象とした教育プログラムを整備することで、計画的な育成に努めていきます。